

かみかつ 茅葺き学校



かみかつ
茅葺き学校

徳島県勝浦郡上勝町八重地集落
かやぶき民家・八重地花野邸を拠点として

神領

・上勝町内にある55の小集落（暮らし）

人口 1,425名
(2022.12.1)



美しい棚田風景と集落の暮らしを守る

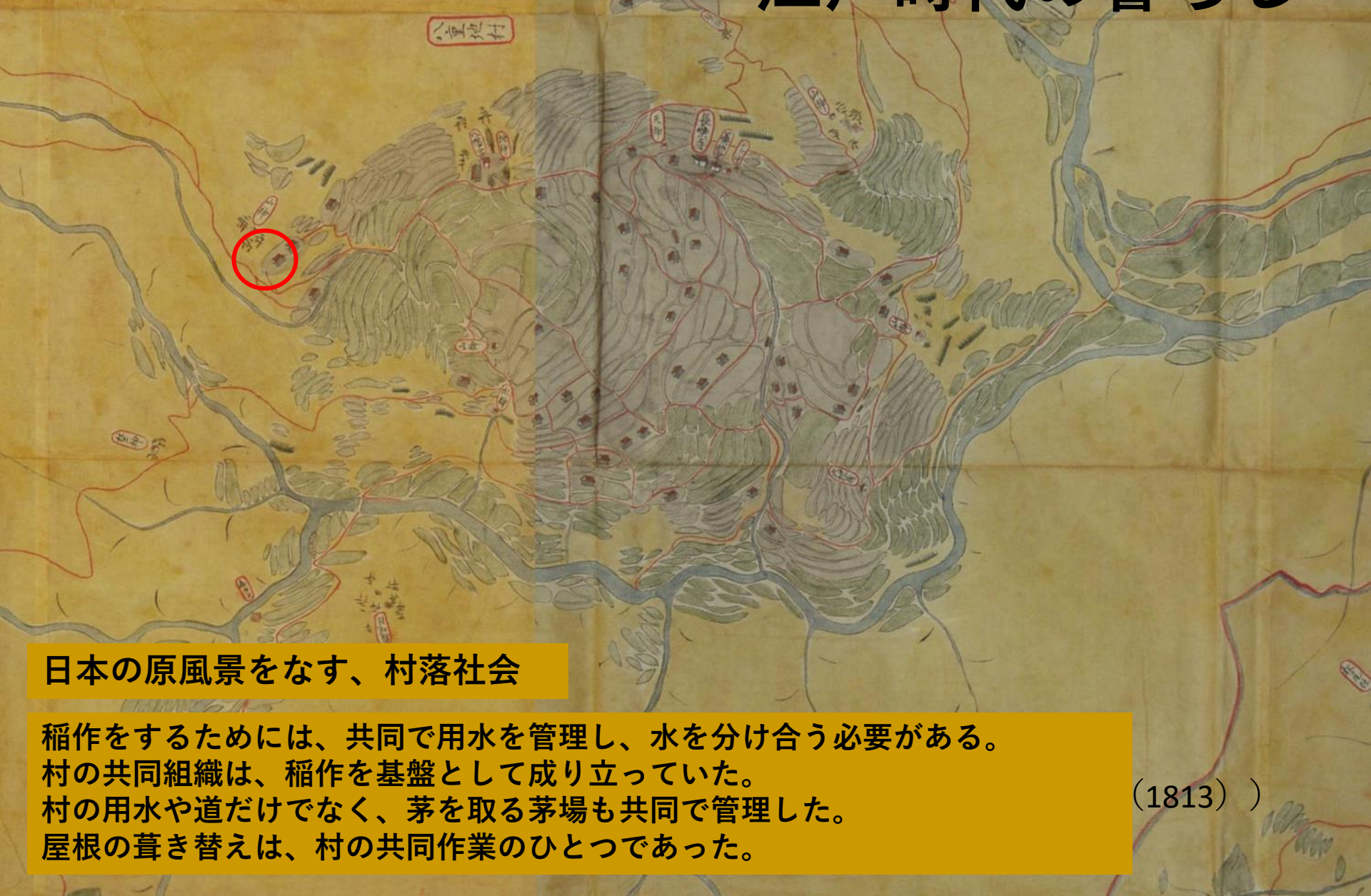
にほんの里100選「八重地の棚田」

- ・ 上勝町最奥集落
- ・ 世帯17件
- ・ 棚田耕作は6件のみ（吉田80代、関70代、峯70代、久保70代、上西50代、山田60代）



八重地文間絵図 (1813)

江戸時代の暮らし



日本の原風景をなす、村落社会

稲作をするためには、共同で用水を管理し、水を分け合う必要がある。
村の共同組織は、稲作を基盤として成り立っていた。
村の用水や道だけでなく、茅を取る茅場も共同で管理した。
屋根の葺き替えは、村の共同作業のひとつであった。

(1813))



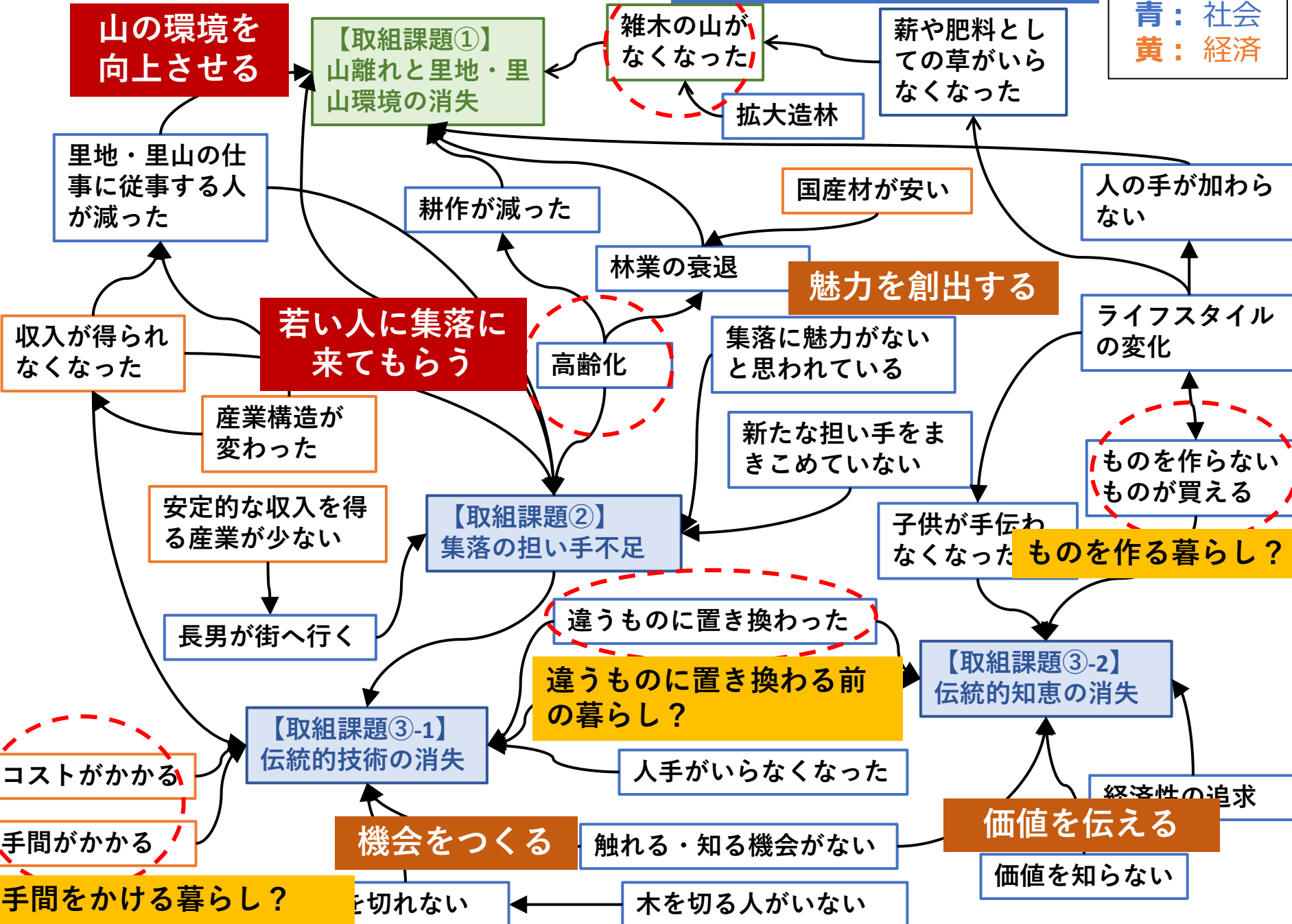
茅葺き民家の再生は2012年



- 集落の周辺の茅を使い、
- 集落のじい様の技術で
- 再生した茅葺き民家

- 活用されず、屋根が傷むばかり・・・

緑：環境
青：社会
黄：経済





茅葺き学校とは

山のめぐみを活かし、集落と都市がつながり、持続可能な集落の実現

活動テーマ（目標）

- ・ 山を守る（恵みの食と循環の暮らし）
- ・ 人を増やす（若者居住）
- ・ 仕事を増やす（上勝パッケージ）

地元提案体験プログラム（2019）

- ・今ならなんとか教えられる、昔の遊びや集落のいろいろなことを教えたい、記録したい









地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿

山のめぐみを活用した集落の豊かな暮らしの持続

小さな自然再生

仲間ができる

仕事ができる

・伝統的な文化の継承ができる

・集落を守る

・集落を支える仲間ができる

・集落で経済活動ができる

・昔の暮らしを伝える場ができる

・小さな自然再生ができる

・集落に人が来る

・茅葺き学校の活動資金ができる

町内移住者

茅葺きや農業の技術習得希望者

きせきれい(棚)

ネイチャークラブ
体験教育研究所

かみかつ茅葺き学校の実施

- ・昔の暮らし体験
- ・棚田保全活動（八重地応援隊）
- ・花野邸貸館

暮らしの知恵・技術の持ち主

ゼロ・ウェイスト タウン上勝パッケージ

- ・サステナブルツアー イーストとくし
- ・スタディツアー 上勝町役場
ハブ拠点の担い手

ビジネスパートナーとの協働

- ・コミュニティビジネス 山の楽校

地域資源＝事業の対象となる可能性の束

地元
食材

昔の
道具

山・川・棚田：
生産資源

山・川・棚田：
生物生息空間

助け合い文化
・金銭を介さない豊かな関係性

山・川・棚田：
美しい景観

上勝ブランド
・ゼロ・ウェイスト

身の回りの材料
でつくる知恵

農業技術

伝統的な神事

山の水、用水

茅葺き民家
八重地花野邸
：景観要素、拠点

信頼関係

ハブ拠点
・WHY、・RISE
・Polester 他

・山の荒廃

・生物多様性低下

・山のめぐみを活用する知恵・技術が失われつつある（人がいなくなる）

・高齢化により、山・棚田・集落の荒廃

・集落に仕事がない

・昔の暮らしをする必要がなくなった

・活動の継続が困難

・拠点の維持に費用が掛かる

- ・身近にある資源でつくる暮らし
- ・再生可能な資源でつくる暮らし
- ・集落で助けあう暮らし

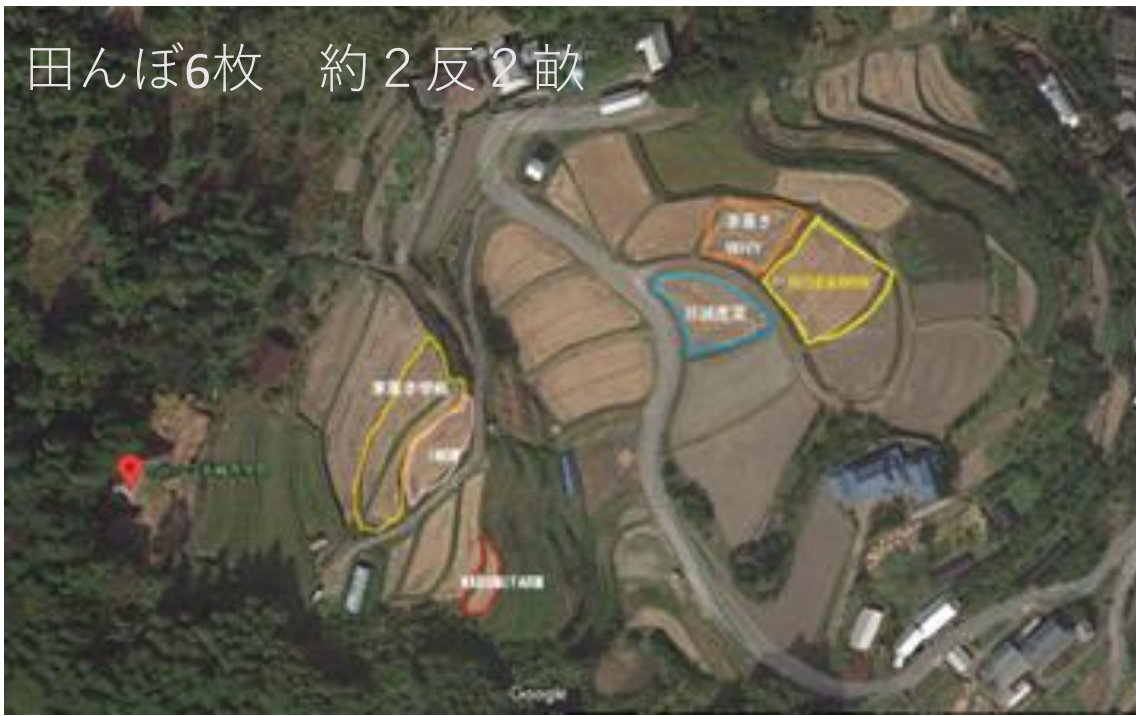
田んぼ応援隊2021～

- 手伝いではなく、田をつくる
- かかる費用をすべて負担
- 苗の手配から、収穫まで、やり方は自由
- 機械の貸し出しを有料化
- 茅葺き学校が清算、作業お手伝い

【2022年度】のべ280名が参加

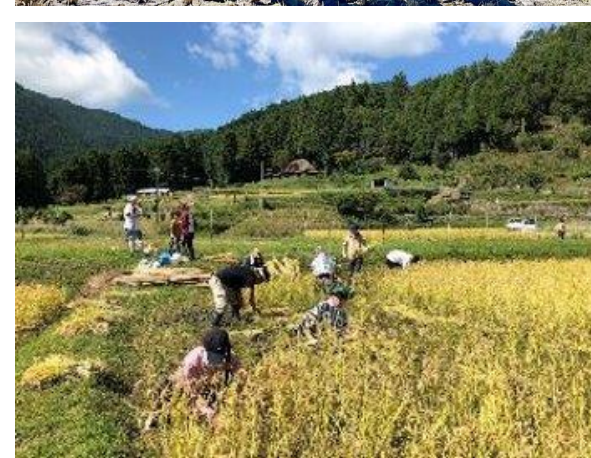
- 町内外の個人、企業
- 20代～40代
- 耕作は初めて
- 美しい棚田の保全
- 自分で作ったお米が収穫できる

田んぼ6枚 約2反2畝



作業内容	のべ人数 (うち応援隊)
耕うん	19 (10)
田植え	63 (31)
あぜ草刈	33 (16)
草取り	102 (68)
稲刈り	50 (32)
粃すり・運搬等	13 (4)

田づくりを通して集落の暮らしの知恵、技術を学ぶ



茅葺き屋根を通して、集落の暮らしの知恵や技術を学ぶ



休耕田や、土捨て場などを茅場として活用（収穫と草刈による管理）

葺き替え作業にボランティア、スタディーツアーの受け入れ



茅葺き屋根の葺き替え2021

- ・ 4年間かけて周辺から茅を収穫（1000束）
- ・ 北面の葺き替え
- ・ 地元のじい様を棟梁に、(有)中平建工の支援を依頼



(有)中平建工
落合集落（東祖谷）の茅葺き
民家の修復・維持管理を行う

作業	参加者
茅刈り(4ヶ年)	延べ150人程度
資材準備（2ヶ年）	延べ20人程度
茅葺き屋根(3週間)	延べ250人程度



イーストとくしま (DMO) ゼロウェイスト・ パッケージ

- ・ 昔ながらの暮らし体験
- ・ 布ぞうりと石臼コーヒー



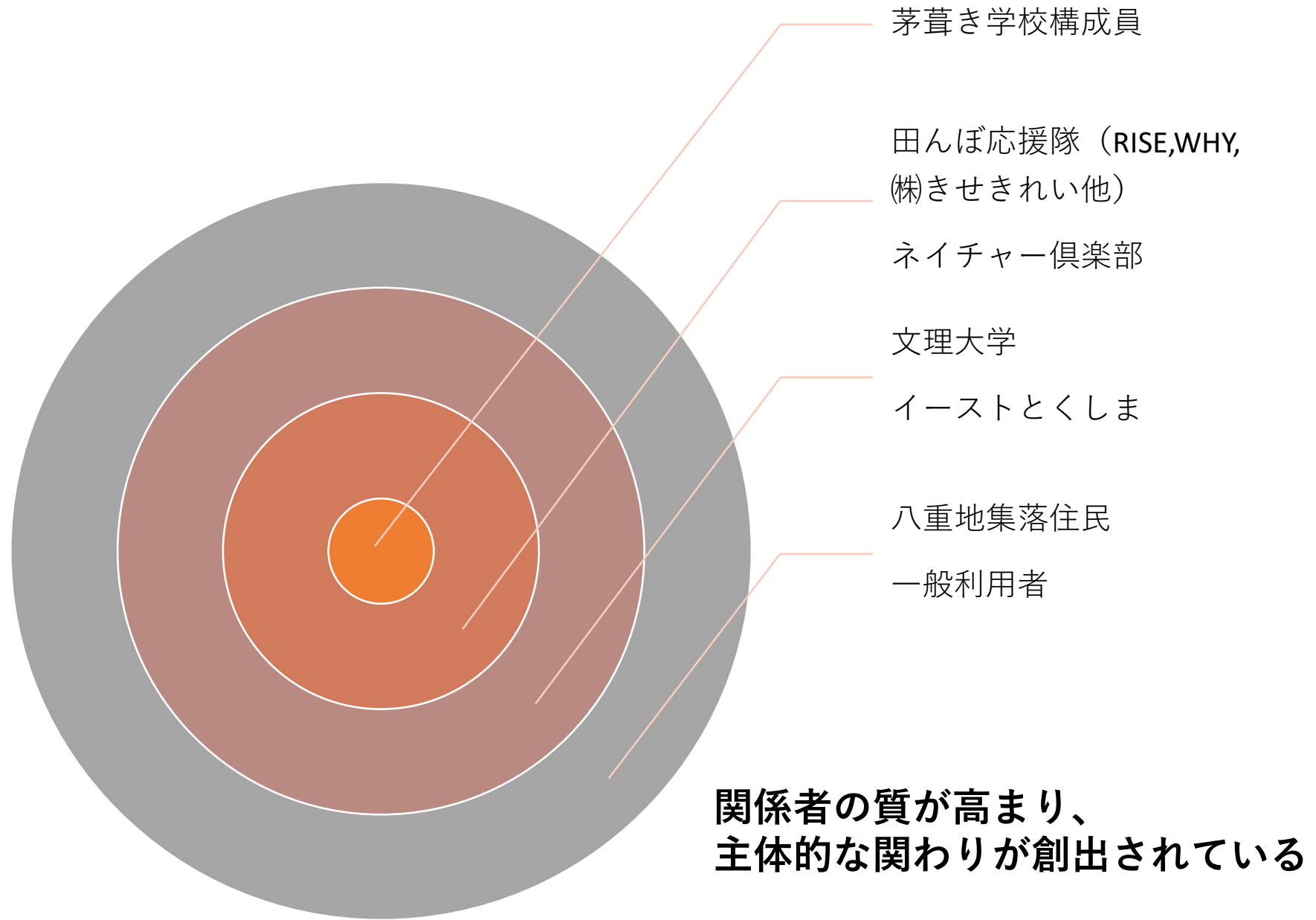
棚田応援隊と 棚田ライトアップ



文理大学フィールド学習受け入れ 上勝晩茶協会、他連携



地域プラットフォームの姿



今年度の目標・取り組み内容



6日

2023年7月6日木曜日 9:00

「百姓の日」は始めるよー

関係性のつなぎ直し
コアのメンバーをしっかりとつなぐ

「百姓の日」は茅葺き民家や田んぼのお手入れなど、かみかつ茅葺き学校での日々のお仕事を体験（実践？修行？）する日です。

毎月第1木曜日と第4土曜日の9～15時。

第1回目は7/6(木)です。

興味がある方どなたでも参加できます。いつ来ていつ帰ってもOKです。

一緒に百姓仕事をしませんか？

今年度の目標・取り組み内容



宿泊許可を取得する！収益事業を展開する！
そのために・・・いろいろな

- ・五右衛門ぶろの設置
- ・水環境の改善
- ・茅葺き民家までのアプローチ（あぜ道）の石積み修復
- ・背景の樹林を伐採

持続的な仕事環境をつくっていく

・関係人口の獲得

→茅葺き民家は、ボランティアの労働によって持続できている。

どうしたらボランティアでも労働したいリピーターを獲得できるか

→ボランティアの質の向上と、主体的な参画のコーディネート

・活動や地域の発信方法

→媒体？

→ターゲット？

→デザイン等へのこだわりの部分